

奈良市 手をつなぐ親の会だより	NO 393	令和5年6月23日(金)	
	発行	奈良市手をつなぐ親の会	
	会長	小西英玄	
	所在地	〒631-0801 奈良市左京 5-3-1 奈良市総合福祉センター内	
	Tel 0742-71-0770	http://naraoyanokaiinfo/	



4年ぶり 総会を開催することができました。

久しぶりにお会いした皆さまは、マスクで顔半分のご対面ですが、懐かしさと、お互い4年の歳月の変化を感じました。

議事は無事終わり、令和5年度が始まりました。一年間よろしくお願いたします。

総会が少し長くなり、12時30分のみどり号に乗れなかった会員の方がおられたようでご迷惑おかけしたことお詫び申し上げます。

この様な投稿記事がありました。(2023年05月23日 朝日新聞 声)より

《ダウン症の娘と私 一期一会の縁》 小学校教員 溝上 敦子 (京都府 47)

「おいつつですか?」。3歳の娘といっしょにいる私に声をかけてくださったのは、20歳の息子さんのお母さんだった。

ダウン症がある娘は3か月に一度、大学病院の小児科を受診する。

待ち時間が長く母子ともにへ口へ口になる。

その中でやさやかな楽しみが「一期一会の出会い」である。

小柄で似た顔立ちのダウン症がある方を私はついつい見てしまう。

そして、声をかけたり、かけなかったりするのだけど。

先日、お母さんが声をかけてくださったのをきっかけに、息子さんの暮らしや学校生活について教えてもらい、成人式で保育園の友だちに囲まれた写真まで見せていただいた。

「いい保育園で、この子らしさを尊重して育ててくれた」と言う。

娘が通っている園と共通点があり、尋ねてみると同じ園の卒業生だった。

彼と娘は同じダウン症でも違うところのほうが多い。

娘の将来も家族の未来もだれもわからない。

でも、同じ地域で暮らす先輩家族の話聞くことでこんなにも気持ち晴れ晴れした。

穏やかな優しい笑顔で娘を見つめていた彼に目いっぱい「ありがとう」を伝えたい。

私たちも ささやかな楽しみ「一期一会の出会い」を始めませんか?

30年余年ぶりに親の会のリーフレットを作成しました。

タイトルは 《ひとりじゃないよ 手をつないでいこうよ》

そこには『やさやかな楽しみ 一期一会の出会い』があるはずです。

街で出会った名も知らないお友達。でも同じ子供を授かったお友達です。軽く笑顔で会釈から始めませんか? その笑顔は仲間へのパスポートになると思います。私たちのように。